

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-
		百貨店（営業担当）	・良い物を選ぶ傾向がかなり強くなってきており、また、現実購入する事例が結構増えている。
		百貨店（営業担当）	・来客数が前年比増加傾向にあり、ブランド商品群の動きもやや持ち直している。購入単価も上昇してきた。一方で、婦人ファッション商品群に不安が残る。
		スーパー（店長）	・そうめんやジュース、アイスクリーム、果物などの動きが堅調である。
		スーパー（予算担当）	・連休前の気温上昇で、七分袖・半袖で外出する機会が増えており、半袖等夏物衣料のニーズが少しずつ増えてきている。また、食料品では冷麺など夏商材が増えてきている。
	変わらない	観光名所（職員）	・外国人観光客がかなり増えている。
		設計事務所（所長）	・大規模な遊休地をマンション業者が取得しており、住宅需要はこれからも見込まれる。
		商店街（代表者）	・空き店舗数が少し増えた。また、次の店が入るまでのサイクルが長くなった。各店がかなりダメージを受けており、出店意欲・営業意欲もだんだん減少している。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	・例年なら今ごろ、草花などの苗物などがたくさん売れるが、今年は食べ物屋さんや衣料品に流れている。
		スーパー（財務担当）	・競合店との競争により、客単価が低下傾向にある一方、購入点数は増加してきている。景気がすぐに良くなるとは思えない。
		衣料品専門店（経営者）	・新しく郊外にオープンした大型ショッピングセンターとの客の争奪戦で一進一退の状態が続くが、既存店の業況は前年比微減で当面変わらない。
		家電量販店（営業担当）	・販売台数は多いものの、新規の客の割合が例年より低くなっている。
		乗用車販売店（従業員）	・ガソリン価格が再び上昇する中で、軽自動車以外の販売は厳しい。
		乗用車販売店（管理担当）	・まだまだ使用できるので、継続して使うという客が多く、乗り換える人が少ない。
		住関連専門店（経営者）	・販売量が思ったほど伸びない。
やや悪くなる	一般レストラン（経営者）	・社用ではなく、プライベートな小グループ、家族での来店が増えている。	
	観光型旅館（経営者）	・5月全体では予約状況はあまり良くない。6～7月も今のところあまり良くなく、前年並みである。	
	タクシー運転手	・夏が来るとお寺参りの仕事が無くなる一方、今月末、大きなショッピングセンターがオープンし、売上が見込める。	
	タクシー運転手	・自転車通勤が増えた、給料が増加しない、ボーナスが無い、という声が多いので、現状で変わらない。	
	観光名所（経営者）	・予約は前年並みである。	
	ゴルフ場（従業員）	・2～3か月先の予約状況は、今月と同じであり、変わらない。	
	美容室（経営者）	・相変わらずオーバーストアーの状態が続いているため厳しさには変わり無い。消費も一部の客のみで、大半は相変わらず節約傾向にある。	
悪くなる	商店街（代表者）	・郊外に大型ショッピングセンターが出店したため、だいぶ影響が出る。	
	コンビニ（店長）	・コンビニ関係の競争がどんどん激しくなっており、多少厳しくなる。	
	衣料品専門店（経営者）	・景気が良いと言われても実際に給料は増えておらず、季節を先取りした買物をしていない。	
	その他専門店〔CD〕（店員）	・大型ショッピングセンターの出店によって、客の流れが大きく変わる。2～3か月は厳しい状況が続く。	
	都市型ホテル（経営者）	・大きな大会等の予約が入っているが、一般的な予約の状況は昨年に比べるとかなり悪い。	
企業 動向 関連	良くなる	輸送業（経営者）	・旅行業に携わっているが、「少し値段が上がっても、良い宿に泊まりたい、美味しい食事を食べたい」という客が少なからずいる。
	やや良くなる	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・新商品のフェイスマスク関係の受注が増加してきているので、少しずつ良くなっていく。

	建設業（総務担当）	・最悪期は脱したようで、受注残高が回復してきており、今後は完成工事高も上昇してくる。	
変わらない	繊維工業（経営者）	・百貨店での贈答品販売に陰りが見られる。	
	木材木製品製造業（経営者）	・現在、資材の高騰で、随分値上がりしている。着工数の状況からみて、7月くらいからは若干上向くが、6月までは大して上昇は見込めない。	
	一般機械器具製造業（経理担当）	・北日本や四国の一部地域を除いて、関東・中部・西日本などは総じてクレーンの稼働状況は良好であり、市場への供給不足によるこの状況はまだ続く。	
	一般機械器具製造業（経理担当）	・5月中旬から、シャーシが新長期排ガス規制対応に全て切り替わる。契約の先送りもあり今後の様子見である。また、製鉄・鉄鋼関係も環境へのニーズは強く、対象車の更新需要も見込まれる。	
	電気機械器具製造業（経営者）	・電子、化学メーカー等素材メーカーが大変好調であり、その受注残、また引き合いもかなりあるが、単価が安く、受注も非常に厳しいことから、まだまだ予断を許さない。	
	建設業（経営者）	・見積が増えて受注できても、受注価格は低い。	
	輸送業（支店長）	・燃料の再値上げ要請があるなど、明るい材料に乏しい。	
	広告代理店（経営者）	・地元資本の小売流通関係得意先は、大手資本出店による競争激化で店舗縮小のため、広告費が減少している。大手の新規オープンに伴う広告も多少見込めるが、結果として変わらない。	
	公認会計士	・各業種の社長と話をすると、積極的に設備投資をするという人は非常に少なく、まだまだ様子を見たいという人が多い。また、銀行が金利等を引上げ始めた影響もあり、経営者がまだまだ慎重になっている。これらのことから、景気は変わらない。	
やや悪くなる	不動産業（経営者）	・個人住宅、あるいは土地を購入する人のマインドが非常に冷えている。	
悪くなる	-	-	
良くなる	-	-	
雇用 関連	やや良くなる	人材派遣会社（支店長）	・正社員の採用が増えており、スタッフの確保が厳しくなりつつある。
		人材派遣会社（支店長）	・大型電機量販店の開店が続くので求人件数は増加する。
		求人情報誌製作会社（編集者）	・採用関連のワンストップ情報提供サービスを開始したことにより、多様なニーズに対応でき、結果、業績の向上を予測している。
		求人情報誌製作会社（従業員）	・求人数が増えてきた上に、各企業の採用者数も増えてきており、景気回復の兆しがある。
		民間職業紹介機関（所長）	・求人数が前年と比べて毎月5%程度増加しており、人手不足感が多くの企業で見られる。
		学校〔大学〕（就職担当）	・求人意欲がおう盛で、若干、明るい兆しが感じられる。
変わらない			
やや悪くなる	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・市内でもビル、建物の建築がほとんど見られず、新規事業に取り組む企業も無く、地場産業がじり貧状態である。	
悪くなる	-	-	